

日立造船株式会社

2013年度 決算説明会



松山市 新西クリーンセンター (140t/d×3)

Hitz
Hitachi Zosen

平成26年5月12日

Hitz日立造船株式会社

取締役社長兼COO 谷所敬

1. 2013年度連結決算概況
2. 2014年度業績見通し
3. セグメント別詳細

- 建設費・外注費等のコストアップにより営業利益が減少したこと
- 一方、サービス事業の収益確保により前回見通しの利益は確保したこと

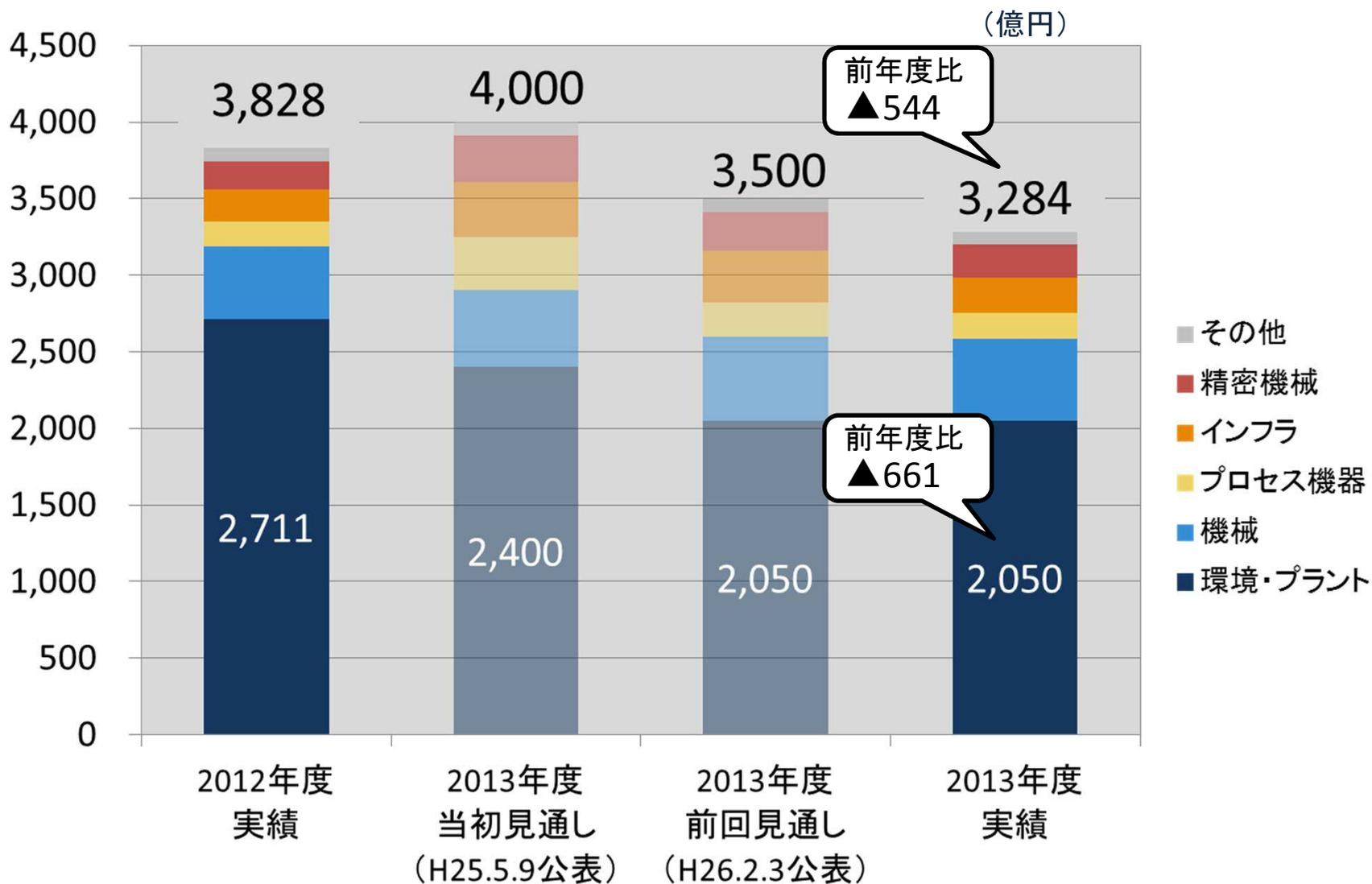
1. 2013年度連結決算概況

2013年度決算 実績サマリー

(億円)

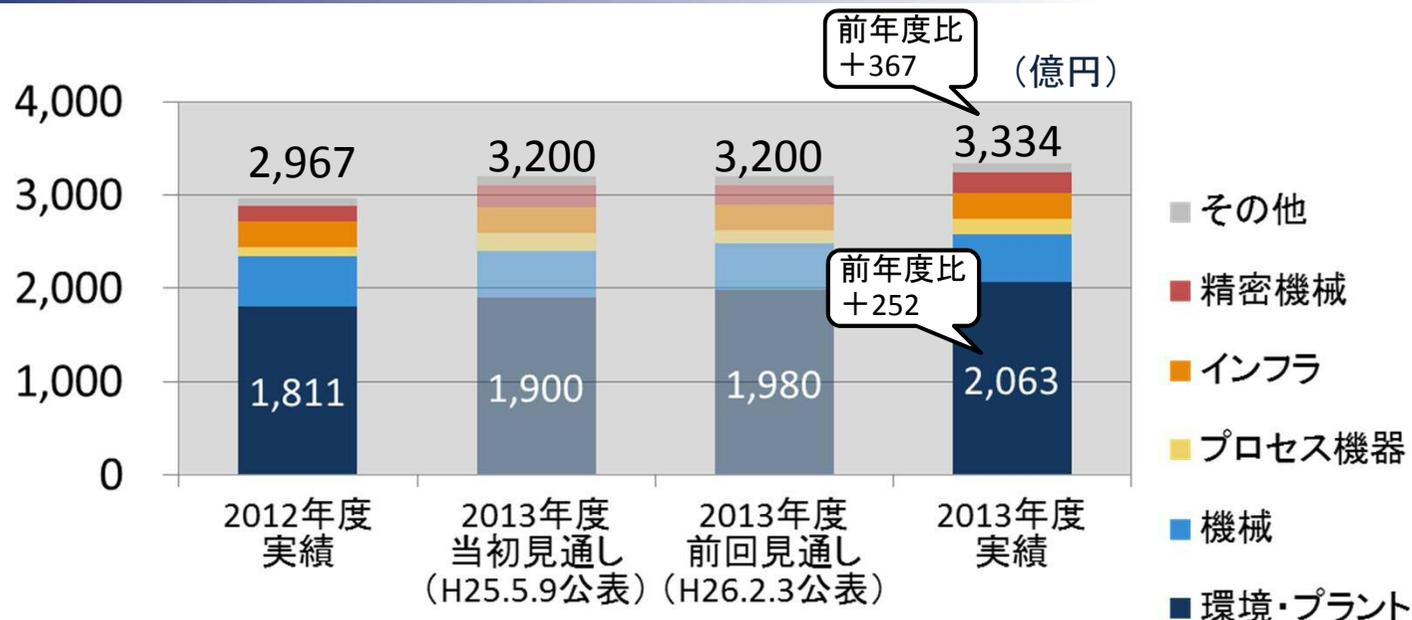
	2012年度	2013年度			比較	
		当初見通し (H25.5.9)	前回見通し (H26.2.3)	実績	対前年度	対2月見通し
受注高	3,828	4,000	3,500	3,284	▲544	▲216
売上高	2,967	3,200	3,200	3,334	367	134
営業利益	113	130	80	78	▲35	▲2
(営業利益率)	3.8%	4.1%	2.5%	2.4%	▲1.4%	▲0.1%
営業外損益	▲1	▲30	▲20	▲16	▲15	4
経常利益	112	100	60	62	▲50	2
(経常利益率)	3.8%	3.1%	1.9%	1.9%	▲1.9%	0%
特別損益	▲25	—	—	—	25	—
税金費用・ 少数株主損益	▲13	▲25	▲30	▲25	▲12	5
当期純利益	74	75	30	37	▲37	7
(純利益率)	2.5%	2.3%	0.9%	1.1%	▲1.4%	0.2%

2013年度決算 受注高

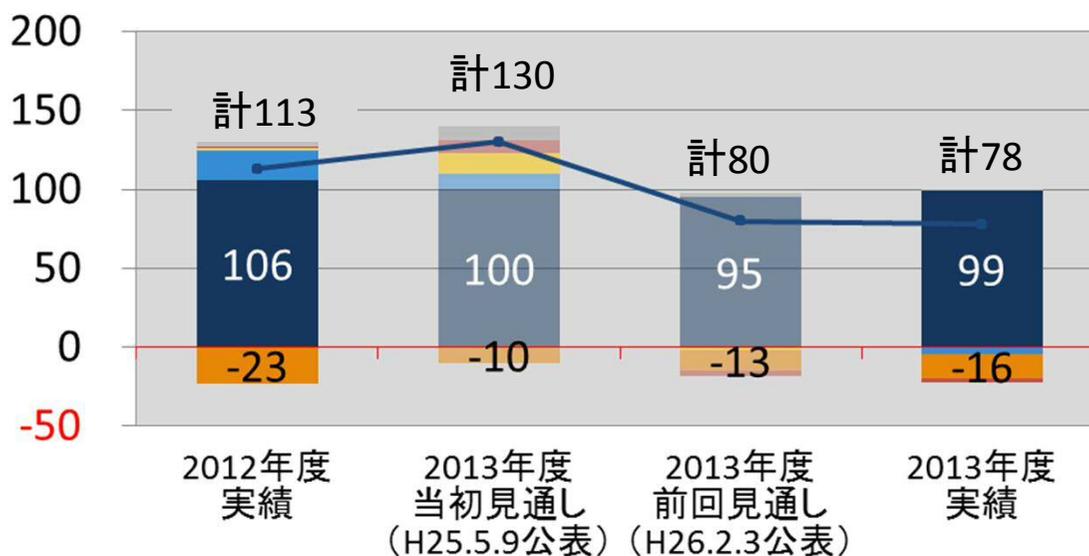


2013年度決算 売上高と営業利益

■売上高



■営業利益



2013年度決算 セグメント別

(億円)

		環境プラント	機械	プロセッサ	インフラ	精密機械	その他	計
2013年度 実績	受注高	2,050	533	173	225	219	84	3,284
	売上高	2,063	519	160	281	226	85	3,334
	営業利益	99	▲4	0	▲16	▲2	1	78
2012年度 実績	受注高	2,711	475	163	209	183	87	3,828
	売上高	1,811	537	101	265	167	86	2,967
	営業利益	106	19	1	▲23	1	9	113
比較	受注高	▲661	58	10	16	36	▲3	▲544
	売上高	252	▲18	59	16	59	▲1	367
	営業利益	▲7	▲23	▲1	7	▲3	▲8	▲35

2013年度決算 営業損益増減内訳

			(億円)
2012年度 営業損益			113
増減内訳	・売上高増(+367億円)	45	▲35
	・一般管理費の増加(人件費他)	▲17	
	・環境・プラント部門の高採算案件の減少 およびコスト増	▲25	
	・機械部門の利益率低下	▲28	
	・精密機械部門の個別工事の利益減少	▲10	
2013年度 営業損益			78

2013年度決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

	2012年度	2013年度	比較
金利負担額※	▲11	▲9	2
持分法による投資利益	23	▲10	▲33
その他営業外損益	▲13	3	16
営業外損益計	▲1	▲16	▲15

(※) 受取利息・受取配当金から支払利息を引いたネットの金利負担額

特別損失	減損損失	▲17	—	17
	厚生年金基金 脱退拠出金	▲8	—	8
特別損益合計		▲25	0	25

2013年度決算 キャッシュフロー・有利子負債

(億円)

項 目		2012年度	2013年度	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	96	3	▲93
	投資活動によるキャッシュフロー	▲135	▲87	48
	財務活動によるキャッシュフロー	▲78	▲5	73
	現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲104	▲65	39
	現金・現金同等物の期首残高	666	564	▲102
	現金・現金同等物の期末残高	(注2) 564	499	▲65

(注1)為替換算差額含む (2012年度:+13、2013年度:+24)

(注2)新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高(2012年度:+2)を含む (億円)

項 目		2013年 3月末	2014年 3月末	比較
有利子負債	借 入 金	(注3) 926	(注3) 943	17
	社 債	100	100	0
	合 計	1,026	1,043	17

(注3)リース債務を含む。

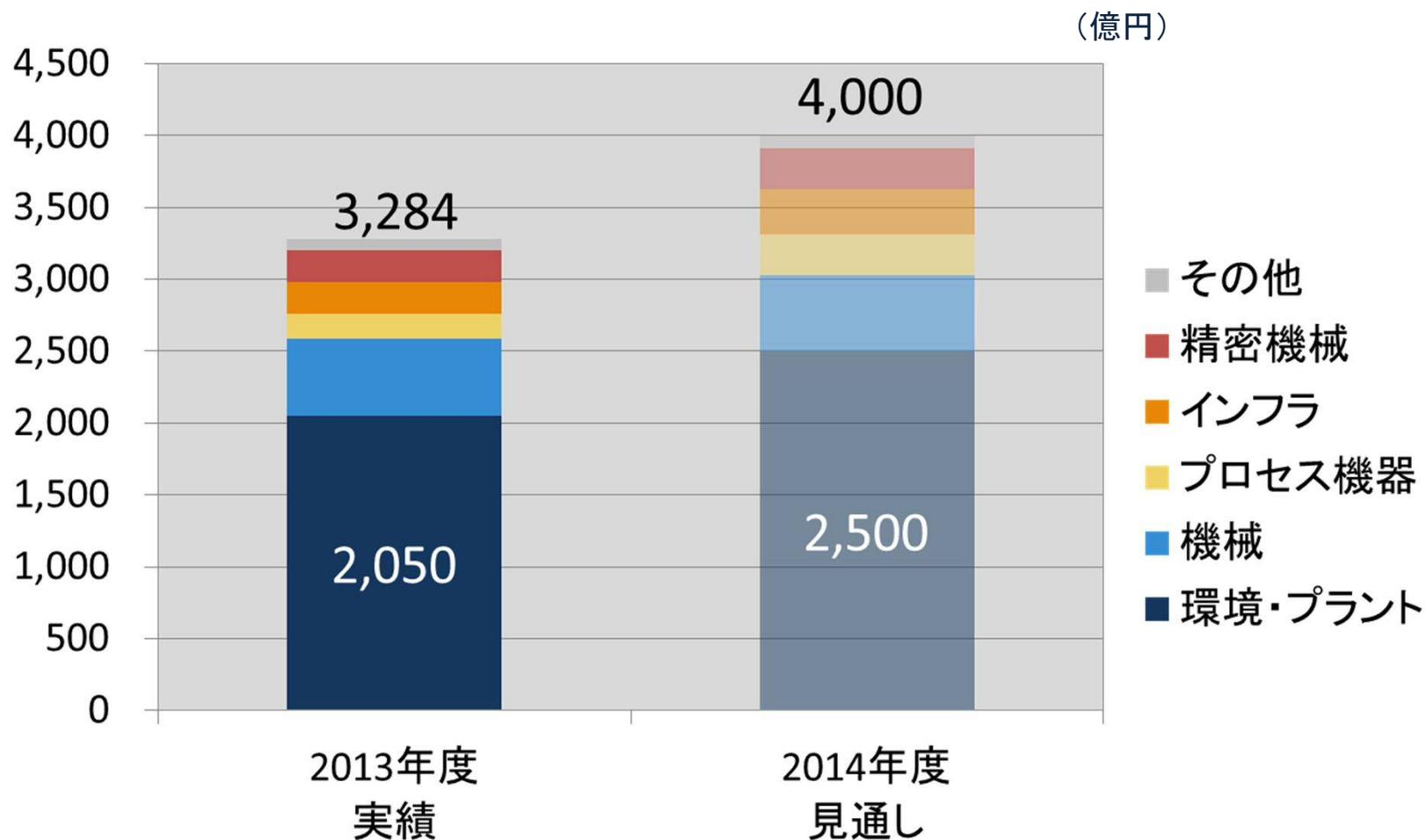
2. 2014年度業績見通し

2014年度見通し サマリー

(億円)

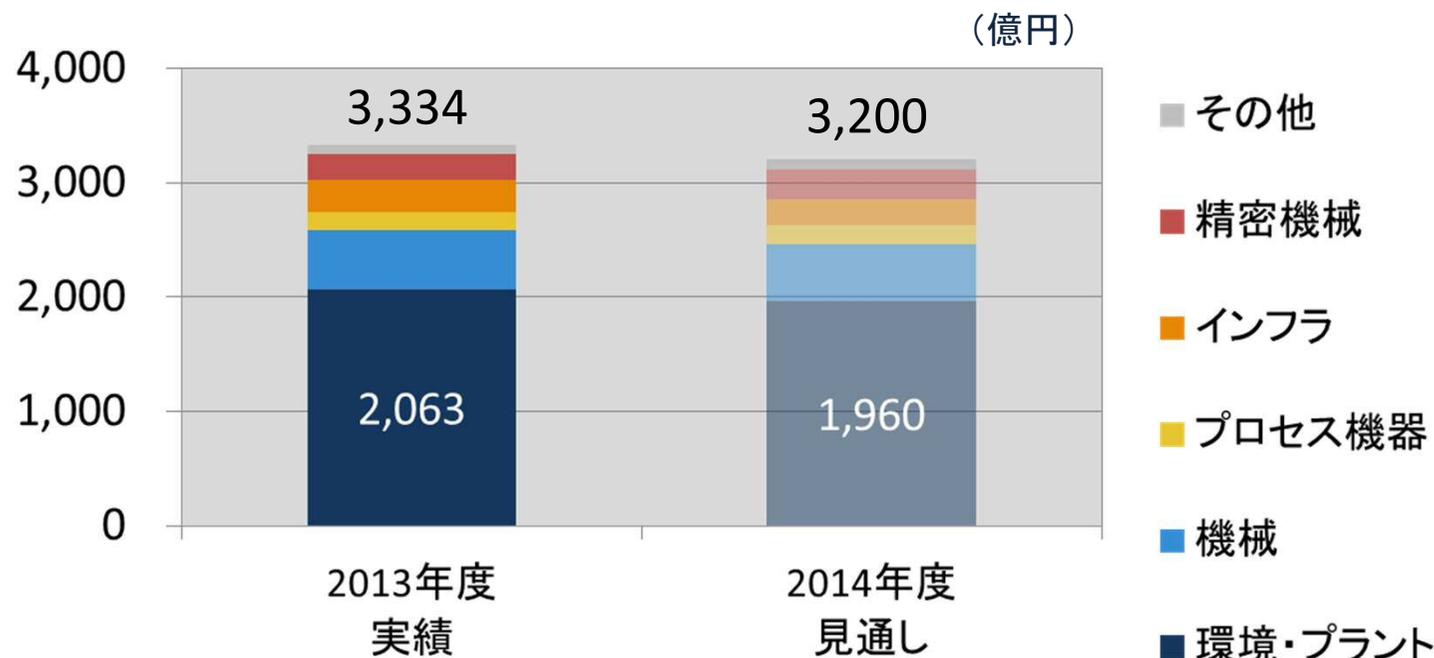
	2013年度 実績	2014年度 見通し	比較
受注高	3,284	4,000	716
売上高	3,334	3,200	▲134
営業利益	78	100	22
(営業利益率)	2.4%	3.1%	0.7%
経常利益	62	80	18
(経常利益率)	1.9%	2.5%	0.6%
当期純利益	37	40	3
(当期純利益率)	1.1%	1.3%	0.2%

2014年度見通し 受注高



2014年度見通し 売上高と営業利益

■売上高



■営業利益



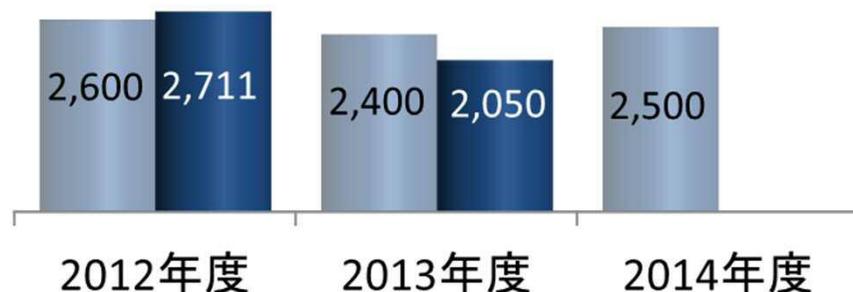
2014年度見通し セグメント別

		環境・プラント	機械	機器・プロセス	インフラ	精密機械	その他	計
2014年度 見通し	受注高	2,500	530	280	320	280	90	4,000
	売上高	1,960	500	170	230	250	90	3,200
	営業利益	85	0	5	0	5	5	100
2013年度 実績	受注高	2,050	533	173	225	219	84	3,284
	売上高	2,063	519	160	281	226	85	3,334
	営業利益	99	▲4	0	▲16	▲2	1	78
比較	受注高	450	▲3	107	95	61	6	716
	売上高	▲103	▲19	10	▲51	24	5	▲134
	営業利益	▲14	4	5	16	7	4	22

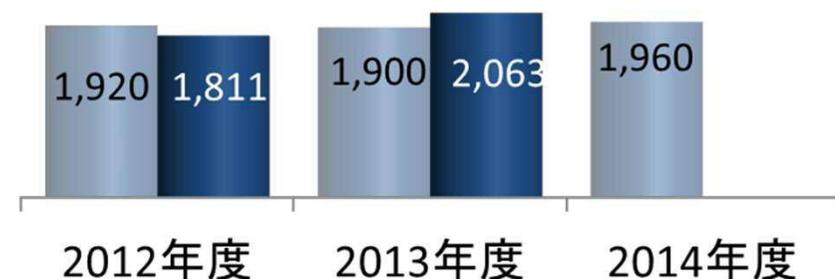
3. セグメント別詳細

■ 見通し ■ 実績 (億円)

【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2013年度実績(前年度比)

▲661億円減少の2,050億円

- ・国内ごみ焼却施設建設工事および長期運営工事の受注案件減少
- ・前年の海水淡水化案件の反動減

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

450億円増加の2,500億円

- ・国内ごみ焼却施設案件の増加
- ・海水淡水化プラント

【売上高/営業損益】

■ 2013年度実績(前年度比)

売上高: 252億円増加の2,063億円

- ・海水淡水化設備の売上増加
- ・アフターサービス、基幹改造案件の増加
- ・Inova社案件増加および決算期変更(+3か月)

営業損益: ▲7億円減少の99億円

- ・高採算案件の減少
- ・建設費、外注費の上昇

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

売上高: ▲103億円減少の1,960億円

- ・海水淡水化設備の売上反動減
- ・売電事業の減少

営業損益: ▲14億円減少の85億円

- ・コスト上昇の影響が残る

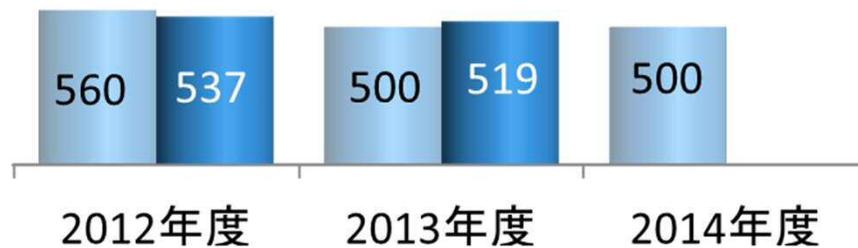
機械部門

■ 見通し ■ 実績 (億円)

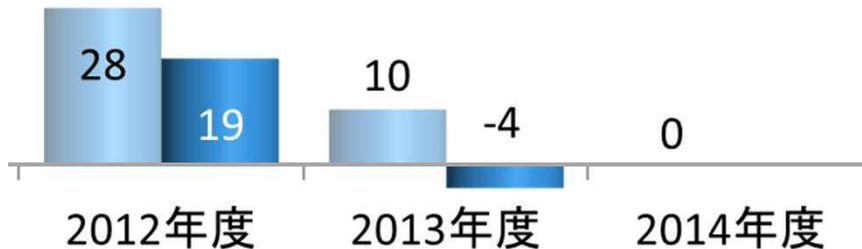
【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2013年度実績(前年度比)

58億円増加の533億円

- ・船用原動機の増加

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

横ばいの530億円

【売上高/営業損益】

■ 2013年度実績(前年度比)

売上高: ▲18億円減少の519億円

- ・自動車業界向けプレス機械が好調
の一方、船用甲板機器が減少

営業損益: ▲23億円減少の▲4億円

- ・船用原動機の利益率低下

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

売上高: ▲19億円減少の500億円

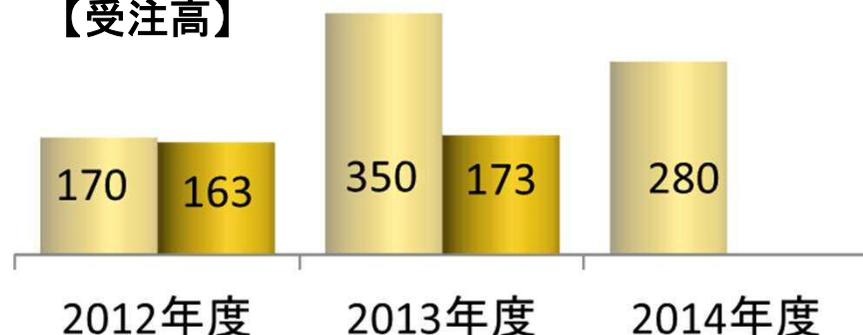
営業損益: 4億円改善のゼロ

- ・プレス機械の減少
・船用原動機のコスト低減

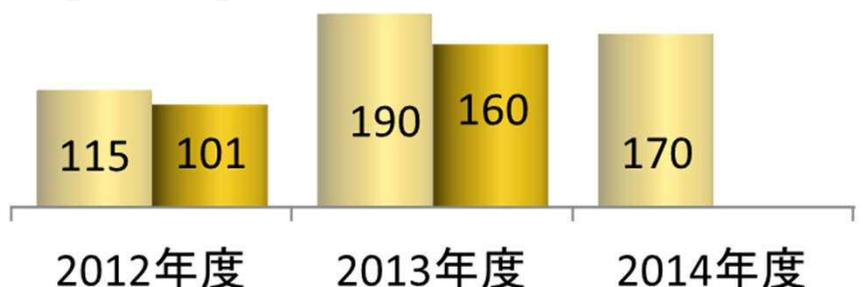
プロセス機器部門

■ 見通し ■ 実績 (億円)

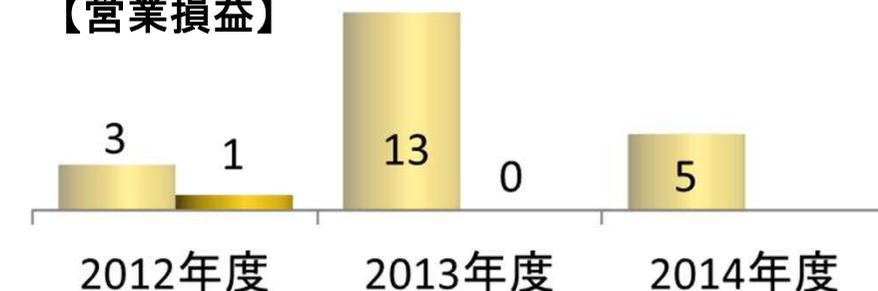
【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2013年度実績(前年度比)

10億円増加の173億円

- ・リアクターで減少したものの、NAC社新規連結

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

107億円増加の280億円

- ・リアクターの増加
- ・原子力関連機器の増加

【売上高/営業損益】

■ 2013年度実績(前年度比)

売上高: 59億円増加の160億円

- ・NAC社新規連結
- ・リアクターの受注回復による増加

営業損益: ▲1億円減少し、ゼロ

- ・売上高増加により収益向上するも、NAC社のれん償却負担

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

売上高: 10億円増加の170億円

営業損益: 5億円増加の5億円

- ・リアクターの増加



【受注高】

■ 2013年度実績(前年度比)
16億円増加の225億円
 ・シールド掘進機は減少
 ・橋梁、水門・鉄管の伸長

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)
95億円増加の320億円
 ・シールド掘進機の国内大口案件
 ・橋梁、水門・鉄管および防災の伸長

【売上高/営業損益】

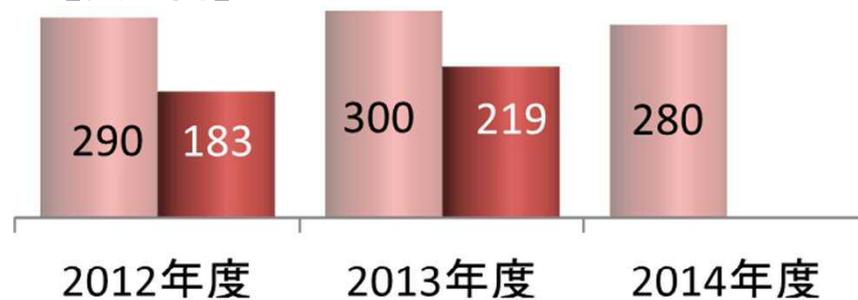
■ 2013年度実績(前年度比)
 売上高: 16億円増加の281億円
 ・シールド掘進機の減少も
 橋梁および水門・鉄管で増加
 営業損益: 7億円改善の▲16億円
 ・売上高の増加
 ・構造改革の進捗

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)
 売上高: ▲51億円減少の230億円
 営業損益: 16億円改善しゼロ
 ・海外シールド掘進機案件の減少
 ・橋梁の採算改善、防災の伸長
 ・構造改革の継続

精密機械部門

■ 見通し ■ 実績 (億円)

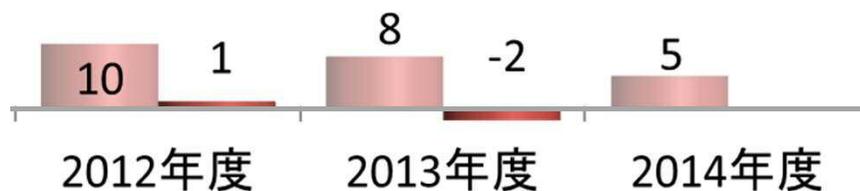
【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2013年度実績(前年度比)

36億円増加の219億円

- ・大口案件(液晶関連)
- ・電子線滅菌装置や充填設備などの食品・医薬関係の好調

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

61億円増加の280億円

- ・大口案件(太陽電池関連)
- ・電子線滅菌装置の伸長

【売上高/営業損益】

■ 2013年度実績(前年度比)

売上高: 59億円増加の226億円

- ・受注高増加による
- 営業損益: ▲3億円減少し2億円の赤字
- ・個別工事の利益減少

■ 2014年度年間見通し(2013年度比)

売上高: 24億円増加の250億円

営業損益: 7億円増加の5億円

- ・大口案件および食品・医薬関連の受注伸長による

Hitz

Hitachi Zosen

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。